

熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第30報] 令和2年(2020年)10月21日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

本市では、先週(10/13~10/19)、市内では、新規感染者28名、うちリンク無し感染者9名が確認された。リスクレベル判断基準に基づき、「レベル4特別警報」を継続する。

新規感染者数、リンク無し感染者数ともに前回より減少している。また、感染機会は、先週に引き続き「飲食店・会食」が高い割合を占めている。

感染者の大半は軽症者・無症状者となっているものの、感染の再拡大に備え、中心市街地を中心にクラスター対策を継続していく必要がある。

市民の皆様には、マスクの着用や手指消毒といった基本的な感染防止対策の再徹底をお願いするとともに、以下の要請・対策を行うこととする。

【要請】

- ・新しい生活様式の実践
- ・高齢者等、重症化リスクの高い市民については、各自での感染防止対策の再徹底
- ・接触確認アプリ「COCOA」の導入促進
- ・ご家族に感染の疑いがある人がいる場合、家庭内での感染防止対策(別紙参照)の徹底
- ・クラスターの連鎖を防ぐため、発熱等の症状がある場合は外出を控える
- ・熊本市内中心部の歓楽街において、夜遅い時間の飲酒や会合など感染拡大につながる行動を控える
- ・感染防止対策が徹底されていない飲食店等での会食を避け、会食の際は感染拡大防止実践店を利用

【対策】

- ・飲食店等への感染拡大防止対策支援
- ・中心市街地の飲食店従業員への緊急検査等の強化(特に接待を伴う飲食店)
- ・県市で連携した感染防止対策の実施

前回(10/14発表)		今回(10/21発表)	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル4 特別警報	拡大	レベル4 特別警報	維持

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「平常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

【熊本市のリスクレベルと判断基準】

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は、感染状況の傾向(拡大・縮小)を踏まえ、総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの密のいずれかに該当する催事の自粛 ・不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	レベル0の対策に加え ・3つの密が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・相談窓口の周知		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・新しい生活様式の広報・実践		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※3つの密とは、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)。

熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント
(10月20日現在)

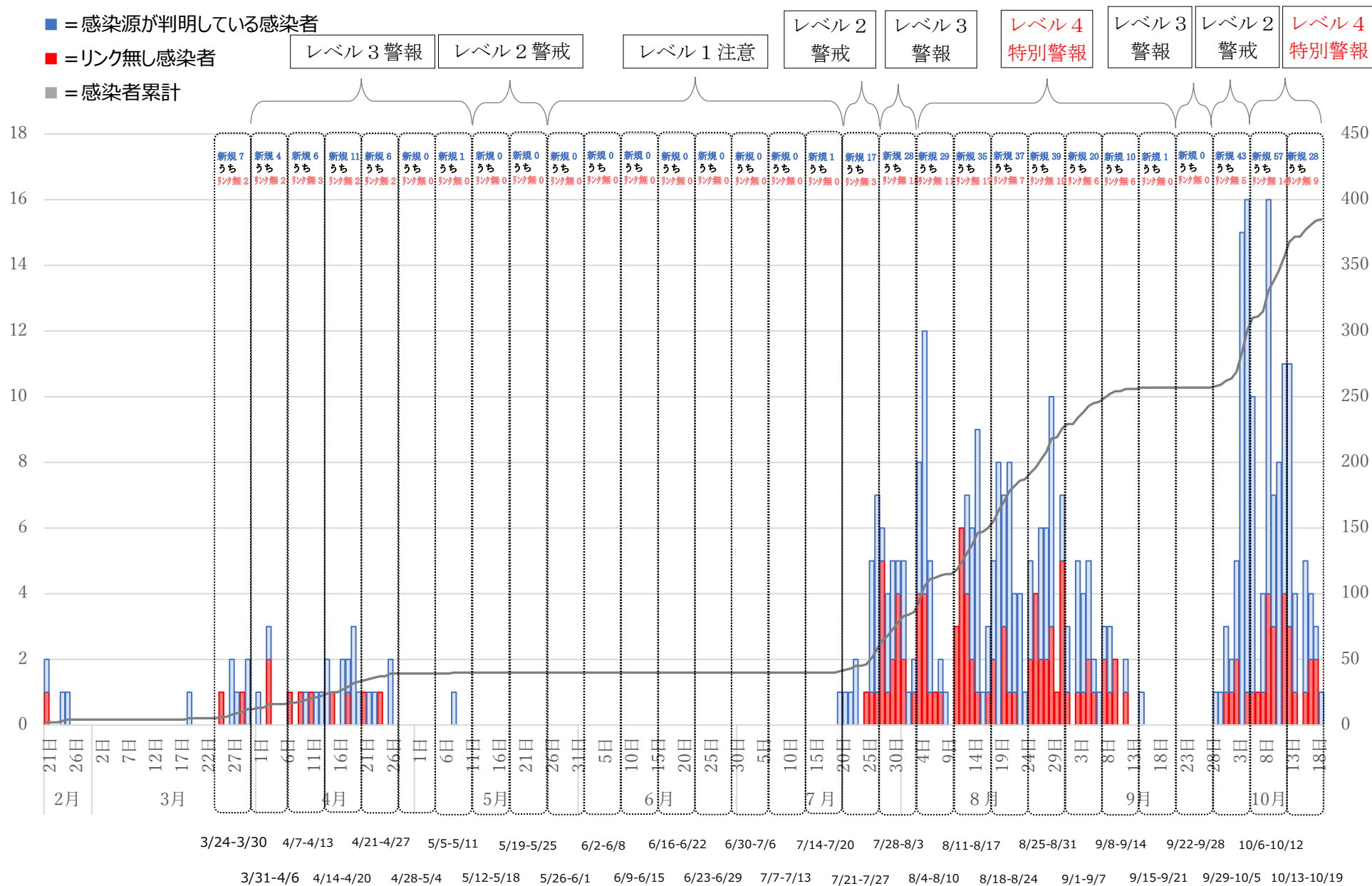
- 熊本県内では、先週(10/13～10/19)、新規感染者は46例(うち感染源が特定できないリンク無し感染者16例)が確認された。
- 判断基準に基づき、県市ともに「レベル4 特別警報」とすることが妥当である。新規感染者数、リンク無し感染者数ともに、前回の値から減少しているが、特にリンク無し感染者数については油断できない水準であり、警戒を維持していただきたい。
- 中心市街地のクラスター対策については、引き続き県市連携のもと、感染リスクの高い場所に集中的にメリハリを利かせた対策を実施していくことが必要である。
- 県全体での病床稼働率や重症者数についてはある程度落ち着いており、医療提供体制がすぐにひっ迫する状況ではなく、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会の示した指標では、現時点ではすべてステージ3に達していない。
- 社会経済活動との両立の観点からも、現時点では、県民市民への行動自粛を促す状況ではないと判断する。
- 一方で、全国では大学や屋外での会食でクラスターが発生するなど、クラスターの様態が多様化しつつあることや、海外との往来が徐々に再開しつつあることに留意し、県市連携のもと、感染拡大につながるような兆候を早期に探知して対応することが求められる。
- また、クラスターの封じ込めには、皆様お一人お一人の御協力も必要不可欠である。県民・市民及び事業者の皆様は、県内の感染動向を注視しながら、引き続き「3つの密」の回避をはじめ、「新しい生活様式」の実践に取り組んでいただきたい。
- 御自分と御家族の健康を守り、周りに感染を広げないためにも、特にクラスターに関係した方は、保健所に御相談いただくとともに、積極的に検査を受けていただくようお願いする。

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]

■ = 感染源が判明している感染者

■ = リンク無し感染者

■ = 感染者累計



ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
 - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
 - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- ◆ マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。
(アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。

※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

- ◆ こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

換気をしましょう

- ◆ 定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ 共用部分（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。

- ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
- ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。

- ◆ トイレや洗面所は、通常の家計用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。

- ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
- ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。

- ◆ 洗浄前のものを共用しないようにしてください。

- ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたりネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ 体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。

- ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ 鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- ご本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。